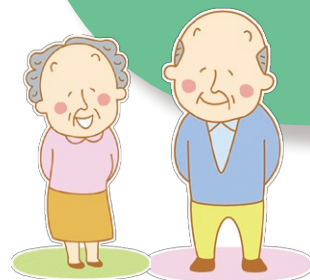


第2期下関市地域福祉計画を策定しました。

特集



温かみのあるまち
の実現を目指して

3つの基本目標

このたび第1期計画が平成24年度で終了したため、平成25年度～29年度までの5年間を計画期間とする「第2期下関市地域福祉計画」を策定しました。この特集では、第2期計画の概要を紹介します。詳細 福祉政策課（☎231-1723）

近年、少子高齢化の進展や核家族・ひとり暮らしの世帯の増加、地域の住民同士のつながりの薄れなど、社会の状況は変化しています。それに伴い、高齢者や子育て家庭などの地域からの孤立や、認知症高齢者や介護が必要なる人の増加などが問題となっています。福祉ニーズが拡大、多様化していることから、地域がつながり、支え合う仕組みをつくり、「地域の福祉力」を高める必要があります。そのような中で、市と市民の皆さんとの協働によって本市の地域福祉を総合的に推進するためにこの計画を策定しました。

ふれあい

地域みんなが出会い、いつも笑顔で過ごせる関係をつくろう

- ①交流機会・社会参加の機会の充実
- ②地域福祉の担い手となる人材の育成
- ③共に支え合い、助け合う意識づくり



あんしん

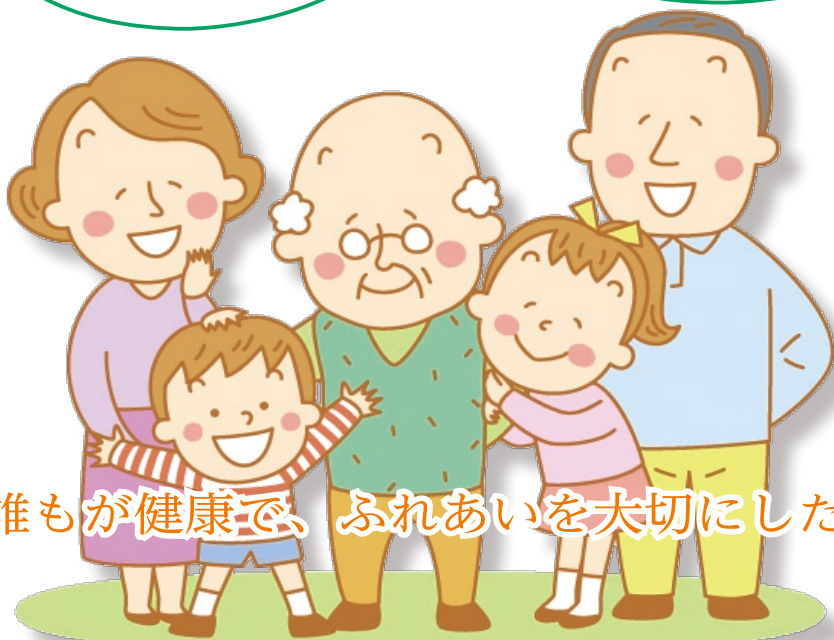
地域みんなが健やかに安心して暮らせる環境をつくろう

- ①福祉サービスの充実
- ②福祉サービスの情報提供の充実
- ③相談体制の充実
- ④地域の防犯・防災体制づくり
- ⑤人にやさしいまちづくり

ささえあい

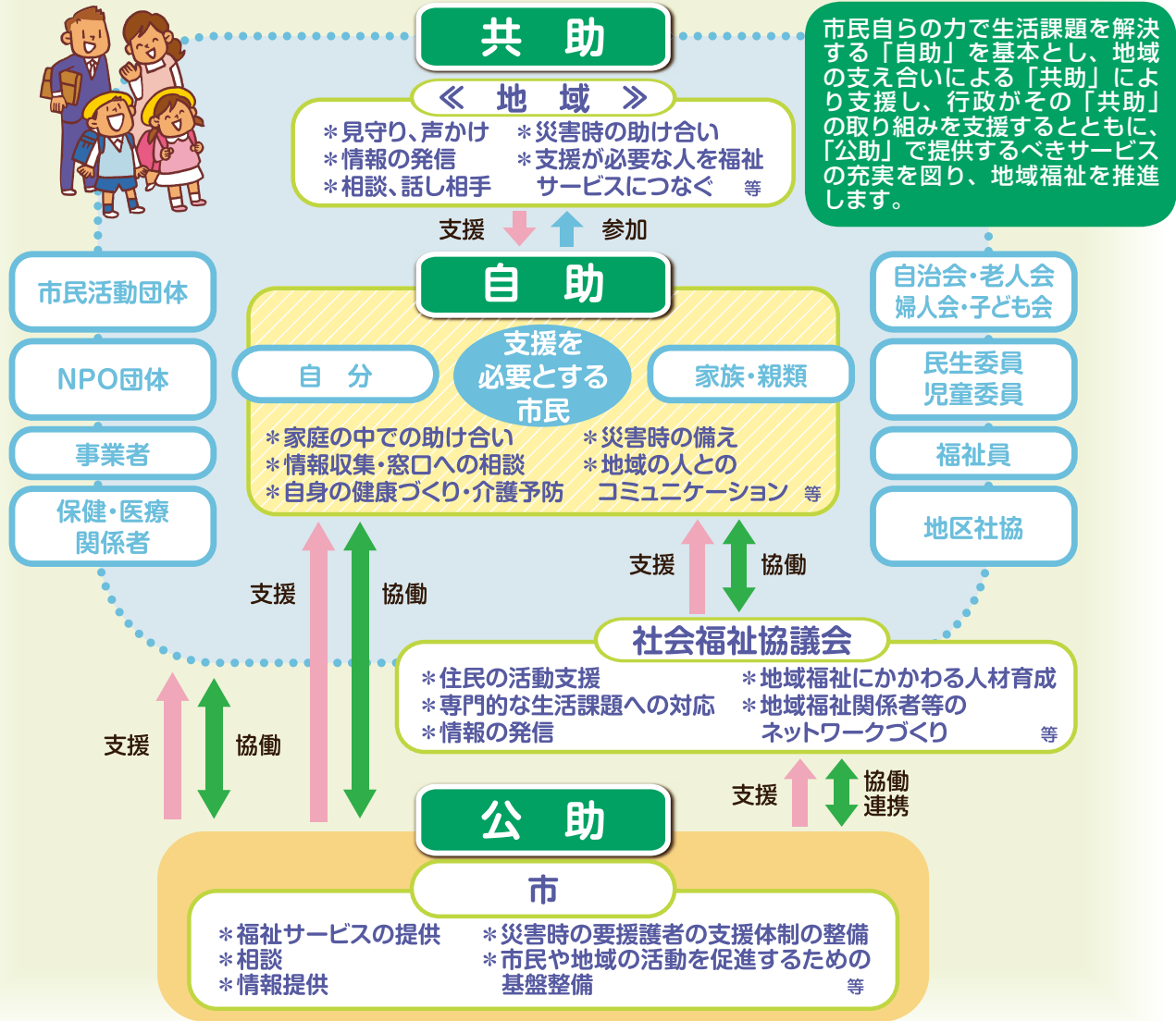
地域みんながお互いさまの気持ちで助け合える仕組みをつくろう

- ①地域福祉を推進するネットワークの構築
- ②福祉に関する市民活動の促進
- ③民生委員・児童委員との連携



～誰もが健康で、ふれあいを大切にした温かみのあるまち～

計画が目指す地域福祉のイメージ



市民自らの力で生活課題を解決する「自助」を基本とし、地域の支え合いによる「共助」により支援し、行政がその「共助」の取り組みを支援するとともに、「公助」で提供すべきサービスの充実を図り、地域福祉を推進します。

公的な制度として、福祉・保健・医療その他の関連するサービスを提供すること。



公助
とは

隣近所の住民同士、友人、知人との助け合いや、自治会や民生委員・児童委員、福祉員、市民活動団体、NPO団体、事業者、社会福祉協議会などの地域で活動する団体の支えにより、生活課題を解決すること。

共助
とは

市民一人ひとりが、自らの主体的な取り組みで生活課題を解決すること。

自助
とは



※第2期下関市地域福祉計画は、市のホームページでも見ることができます

地域福祉を推進するためには、市民の皆さん一人ひとりが、地域への愛着と、人と人とのつながりを大切にする意識、自分自身が地域の一人として地域福祉を担うことの自覚を持ち、主体的に地域の生活課題の解決に取り組むことが重要です。このたびの計画では、地域におけるさまざまな課題を解決するために、独自の活動(共助の取り組み)を、積極的に進めている団体の活動事例も紹介しています。ぜひ、参考にしてください。



福祉部長 高田昭文

地域福祉をめざして